

法 金 剛 院 旧 境 内 跡
現地説明会資料 2

1 9 9 7 年 2 月 9 日

財団法人京都市埋蔵文化財研究所

法金剛院旧境内跡

| | |
|------|------------------|
| 所在地 | 京都市右京区花園寺ノ内町、扇野町 |
| 調査期間 | 1996年11月5日～継続中 |
| 調査面積 | 約1,300㎡ |
| 調査主体 | 財団法人京都市埋蔵文化財研究所 |

概要

財団法人京都市埋蔵文化財研究所は、JR花園駅周辺において1995年から約2年間にわたって発掘調査を実施してまいりました。これらの調査は、JR山陰本線と都市計画道路との立体交差に伴う花園駅の整備事業によるものです。

これまでに行いました発掘調査では、三重塔跡、東門跡、築地跡、池跡、西京極大路などを発見することができました。その結果、待賢門院が供養された法金剛院の実態がかなり明らかになってきました。

調査成果

今回の調査は、花園駅前広場の整備事業に伴うもので、東御所や西京極大路が推定される場所です。調査の結果、建物跡、中門廊、屏跡、築地跡、遣水跡、池の東・西岸跡、西京極大路跡などを発見しました。

礎石建物1 南北3間×東西4間で、南側に庇が付きます。

礎石建物2 建物のほとんどが調査区外にあたるため詳細は不明です。

中門廊1 礎石建物2から北へ伸びる廊です。柱間の寸法は梁間3.6m、桁行2.4mです。

中門廊2 中門廊1のすぐ東側で発見した廊で、北で東側へ直角に折れ曲がります。そして礎石建物1と接します。柱間の寸法は中門廊1と同じです。

遣水 中門廊1の西側で見つけた南北方向の小川状の細い流れです。要所には景石を据え付けています。調査区南側では礎石建物2の床下を流れます。

池の岸 ゆるやかな勾配の岸で、汀には明瞭な洲浜は見られず砂を敷いています。

西京極大路 路面は約5面を確認しました。道幅は約15mほどです。大路の西側で幅3m、深さ0.6mの側溝がありました。

屏 東西方向に設けられた屏で、東端は礎石建物1東端に揃えています。

築地塀 この築地塀は、法金剛院の東限に造られたものです。周囲からは瓦が出土していませんから、この塀の屋根は瓦葺きでなかったようです。

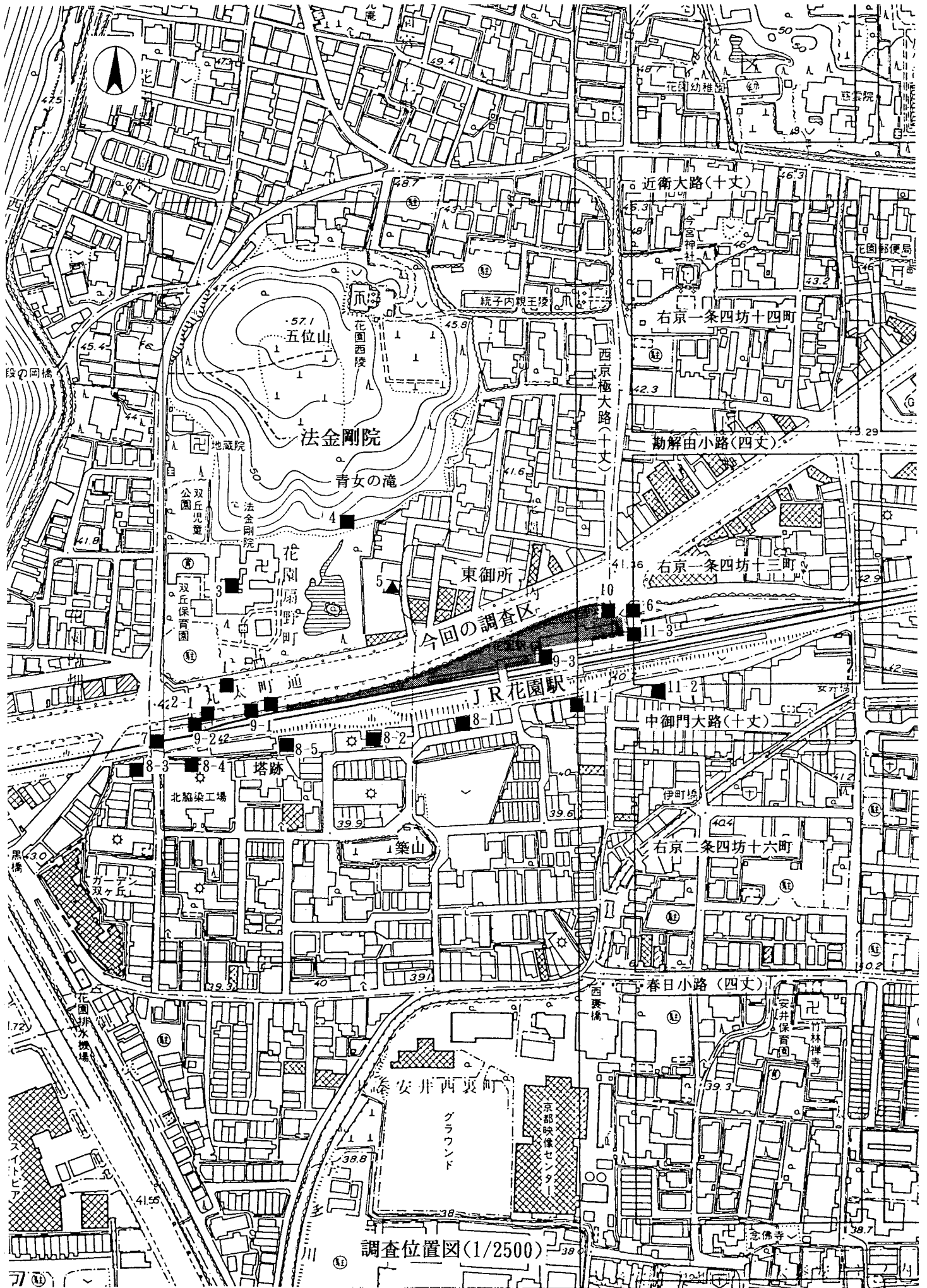
まとめ

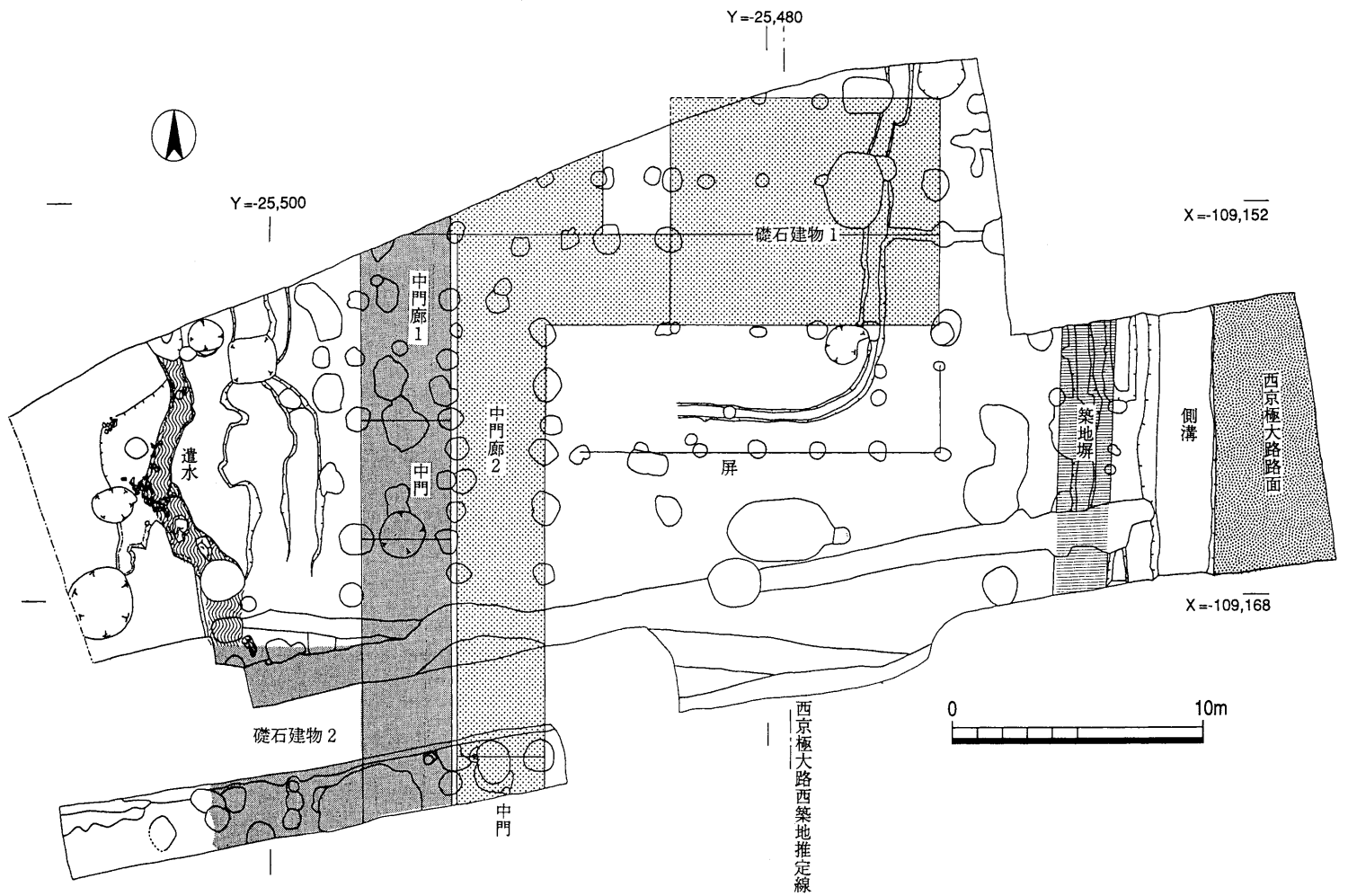
- (1) 今まで、史料でしかわからなかった法金剛院東御所の位置や様子を具体的にすることができました。とくに東御門から寝殿にかけての状況が明確になりました。その様子は、『年中行事絵巻』巻3の描写を髣髴とさせます。平安時代後期の御所の遺構を明らかにした例は極めて少く、今回の調査成果は平安時代の御所や邸宅を考えるのに大変貴重な資料になりました。
- (2) 西京極大路の明確な路面を発見したのは、平安京跡で初例のことです。注目される点として西京極大路の道路幅があります。『延喜式』には、西京極大路は十丈＝約30m(築地間)と記されていますが、今回明らかになった寸法はその半分の15mでした。これは、法金剛院の寺域が大路側へ張り出すように占地したためと考えられます。

法金剛院および旧境内地調査一覧

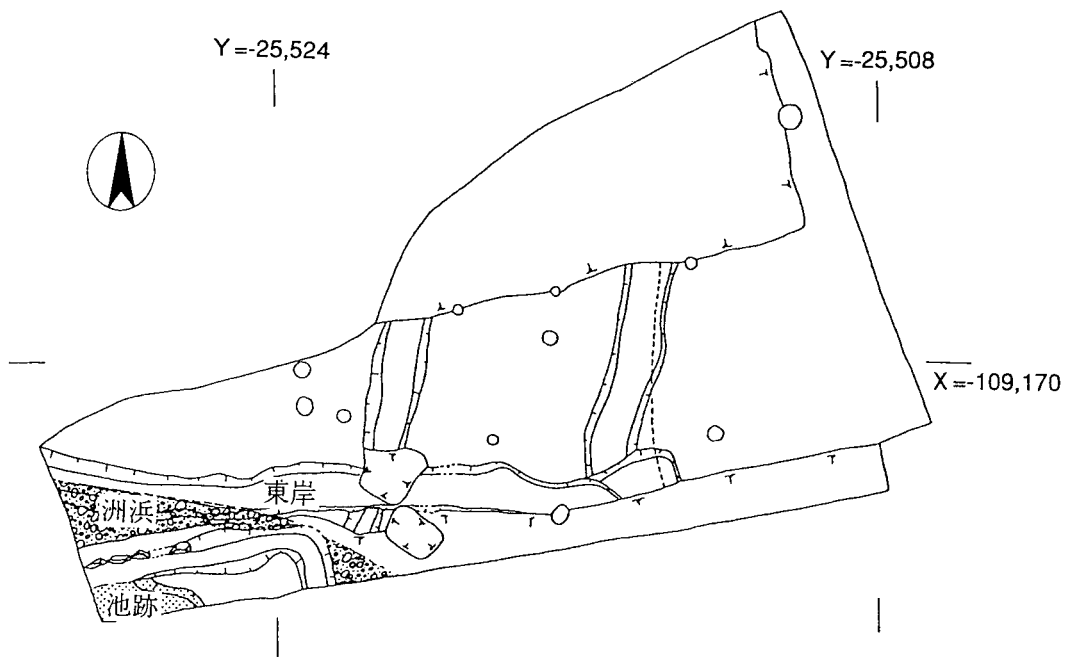
| No. | 年度 | 方法 | 調査主体 | 調査内容 | 調査地 |
|------------|---------|----|----------|------------------------------|-----------------|
| 1 | 1969 | 発掘 | 京都府教育委員会 | 建物、築地遺構、池の西汀線 | 花園扇野町 (丸太町通) |
| 2 -1・2 | 1969 | 発掘 | 京都府教育委員会 | 建物、築地遺構 | 花園扇野町 (丸太町通) |
| 3 | 1969 | 発掘 | 京都府教育委員会 | 池の西岸 | 花園扇野町 法金剛院境内 |
| 4 | 1970 | 発掘 | 庭園文化研究所 | 青女の滝と水受石 | 花園扇野町 法金剛院境内 |
| 5 | 1986 | 試掘 | 京都市埋文研 | 南北方向の池の東側護岸施設 | 花園扇野町 |
| 6 | 1989 | 発掘 | 京都市埋文研 | 平安時代後期の溝 | 花園寺ノ内町 |
| 7 | 1991 | 発掘 | 京都市埋文研 | 平安時代の湿地、流路 | 花園扇野町、 寺ノ内町 |
| 8 -1~5 | 1995 | 発掘 | 京都市埋文研 | 三重塔、池の西汀線、 下層の礎石建物 | 花園扇野町、 寺ノ内町 |
| 9 -1・2 | 1996 | 発掘 | 京都市埋文研 | 建物、築地 | 花園扇野町、 寺ノ内町 |
| 10 | 1996 | 発掘 | 京都市埋文研 | 西京極大路路面、平安前期の建物、 後期の井戸 | 花園寺ノ内町 |
| 11 -1~3 | 1996 | 発掘 | 京都市埋文研 | 西京極大路東側溝、中御門大路 北側溝、東門 | 花園寺ノ内町 |
| 12 | 調査 中 | 発掘 | 京都市埋文研 | 東御所の建物、回廊跡、池の東 ・西汀線、西京極大路 | 花園扇野町、 寺ノ内町 |

※ 番号は右の地図と一致します

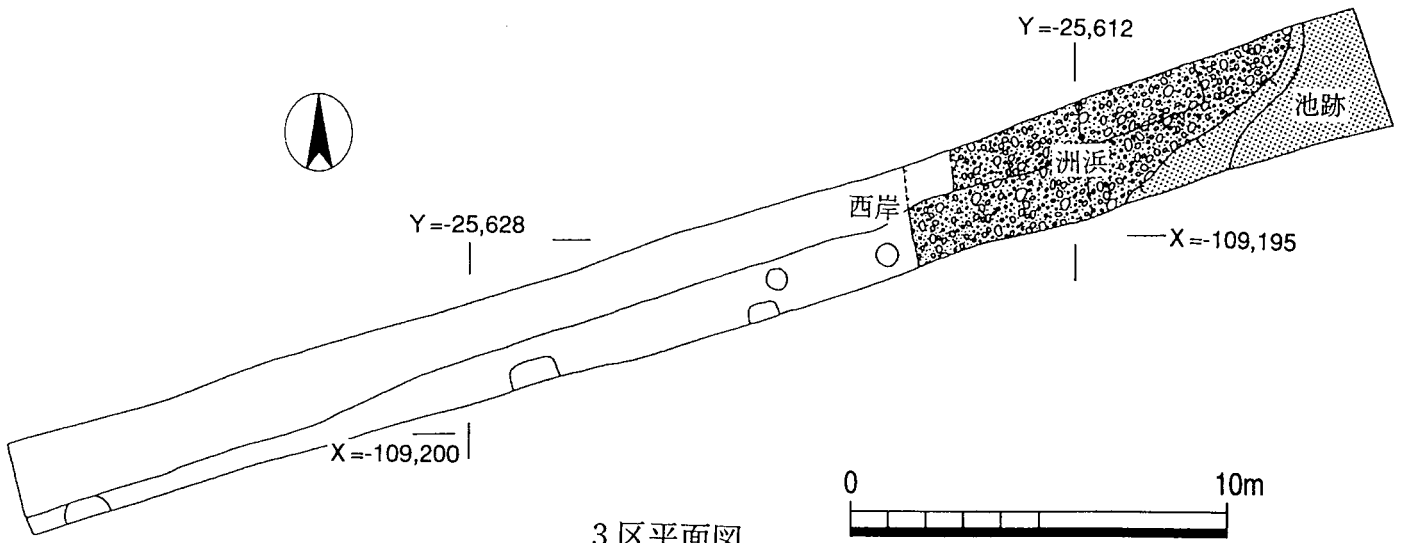




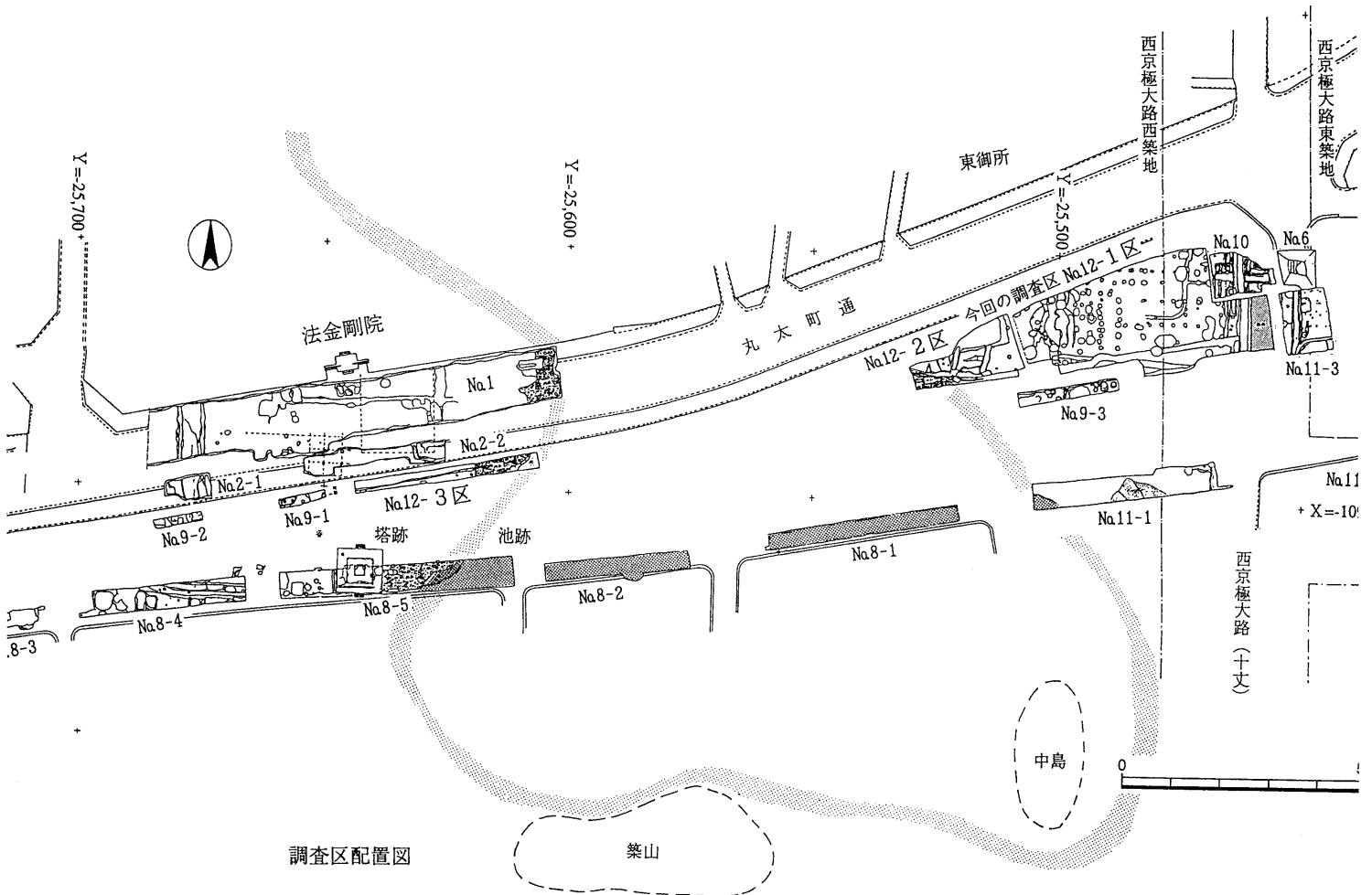
1区平面図



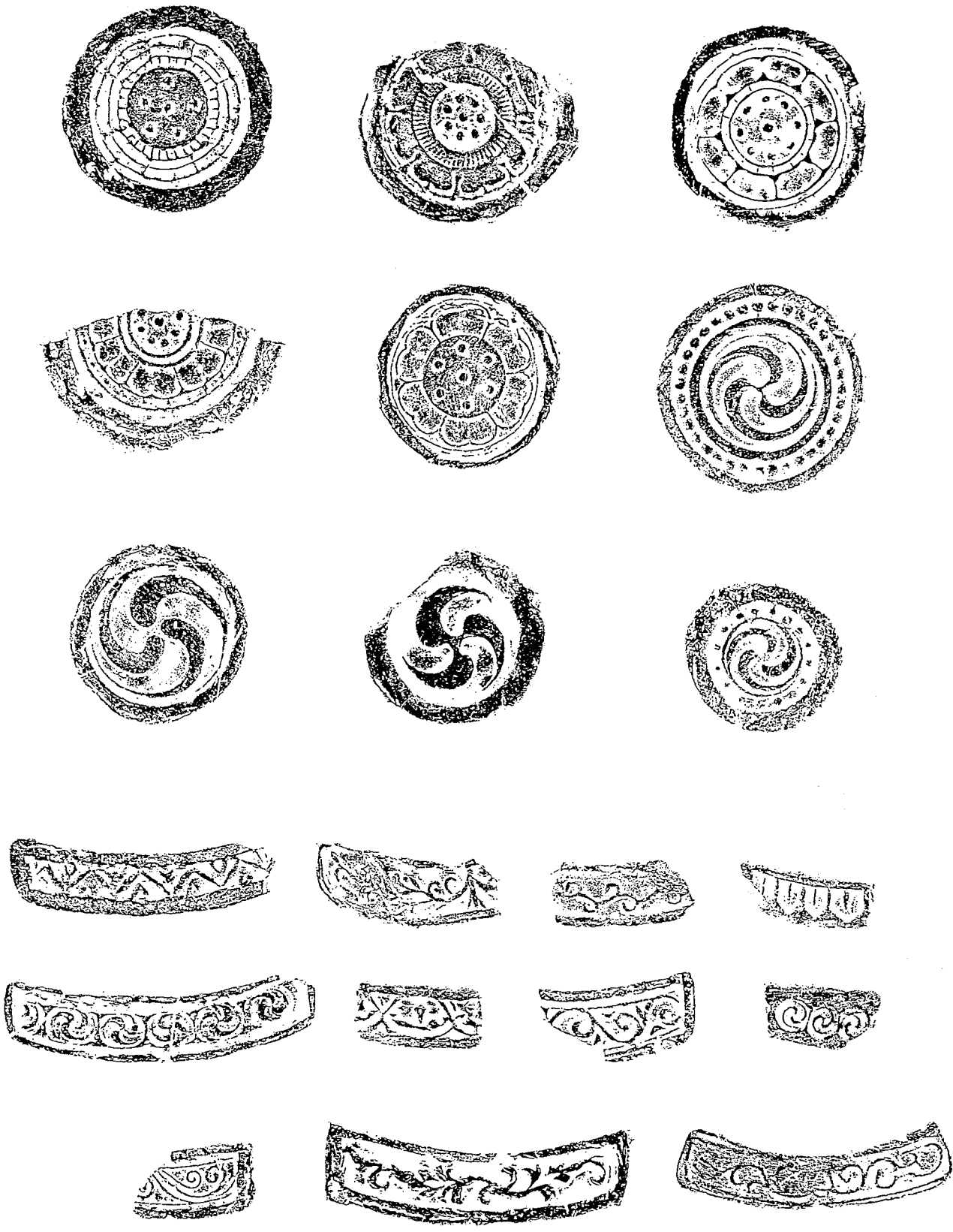
2区平面図



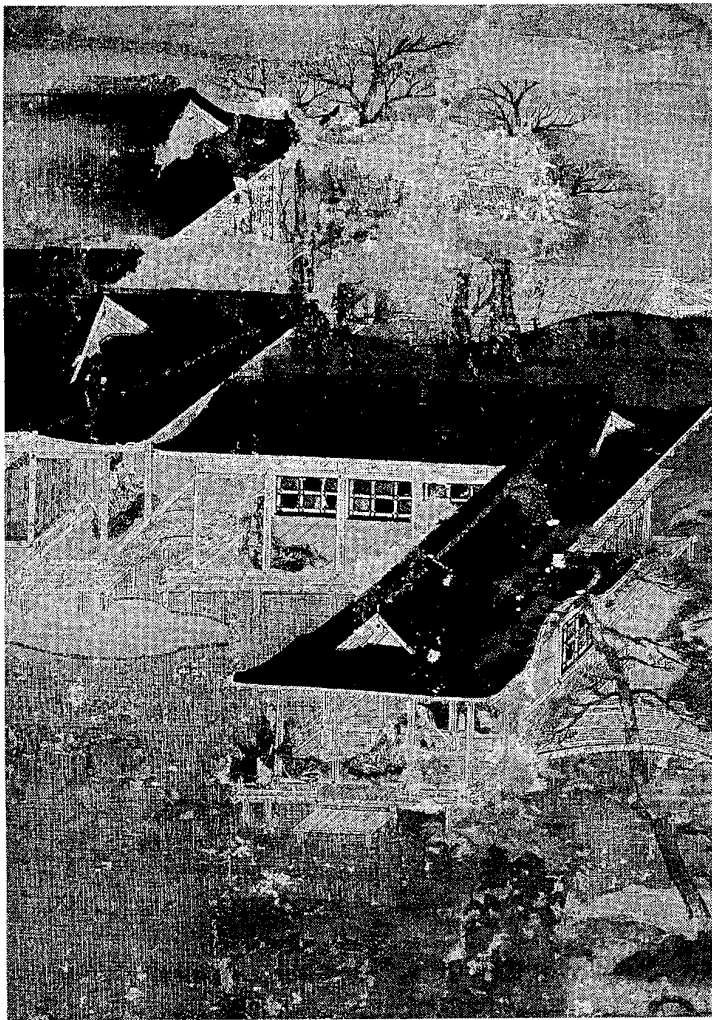
3区平面図



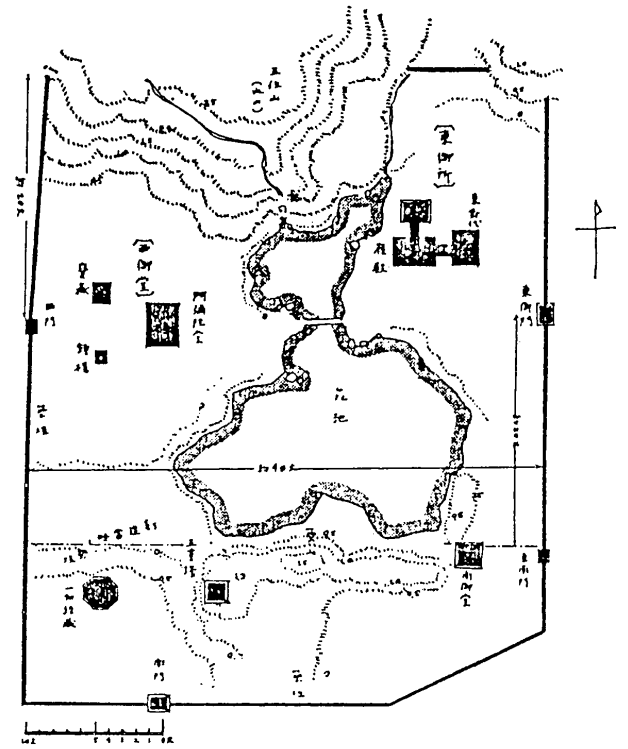
調査区配置図



出土瓦拓影



参考史料 御所の様子（山水屏風 神護寺）



圖像想院剛金法圖七第

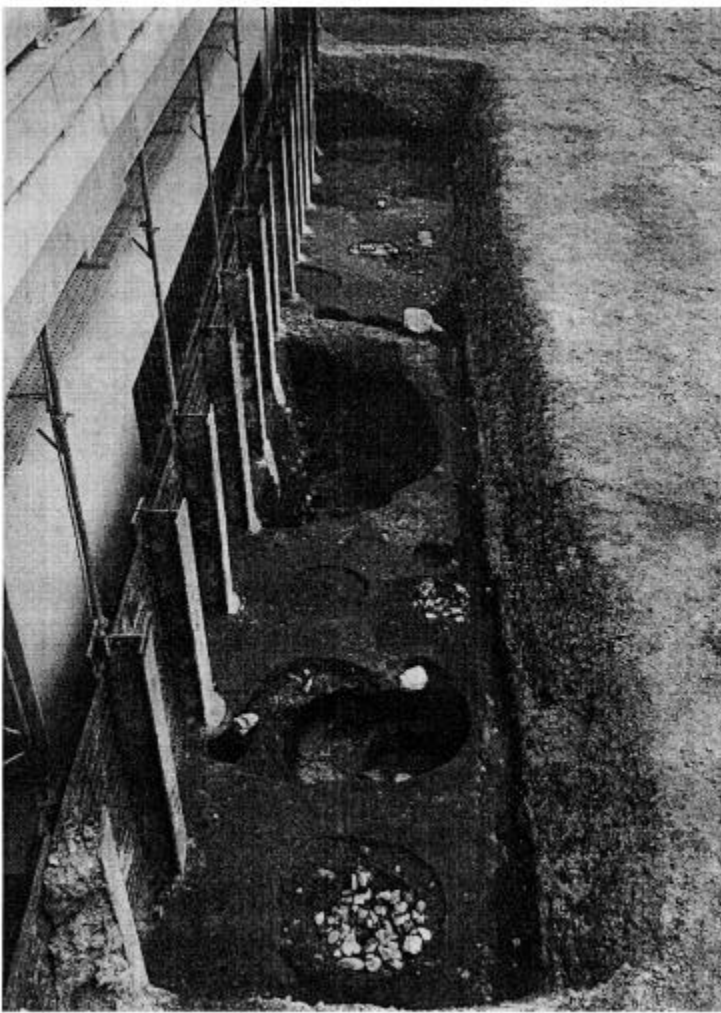
森 蘊著「法金剛院の庭園について 下」『建築史』1-2 昭和14年3月より



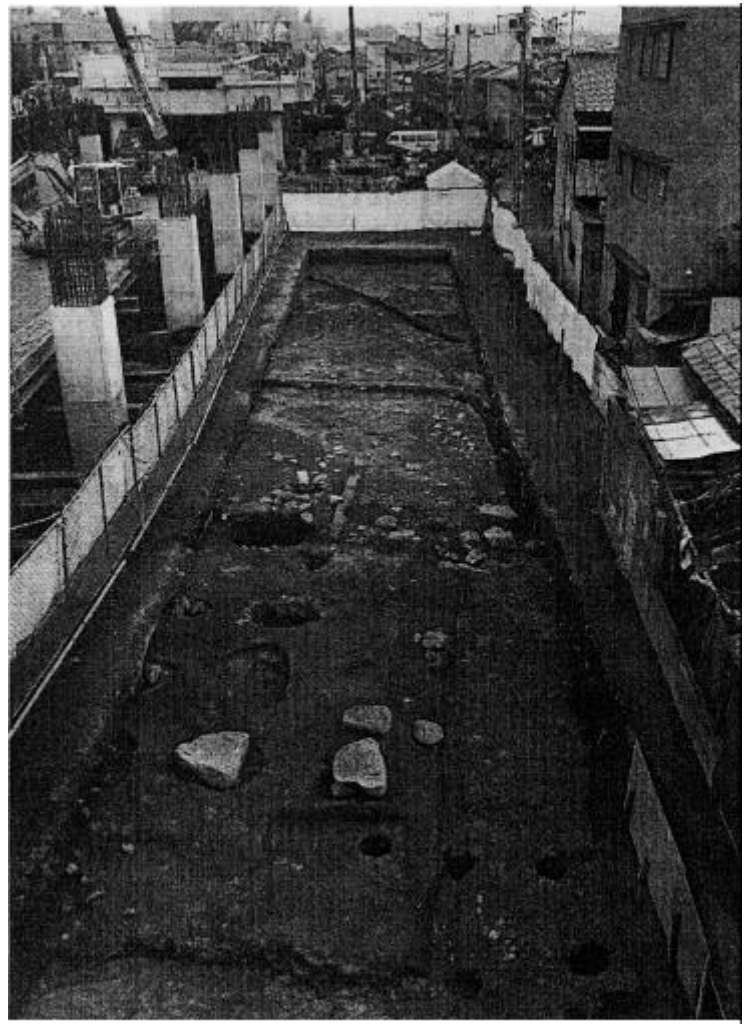
1区第1面全景（東から）



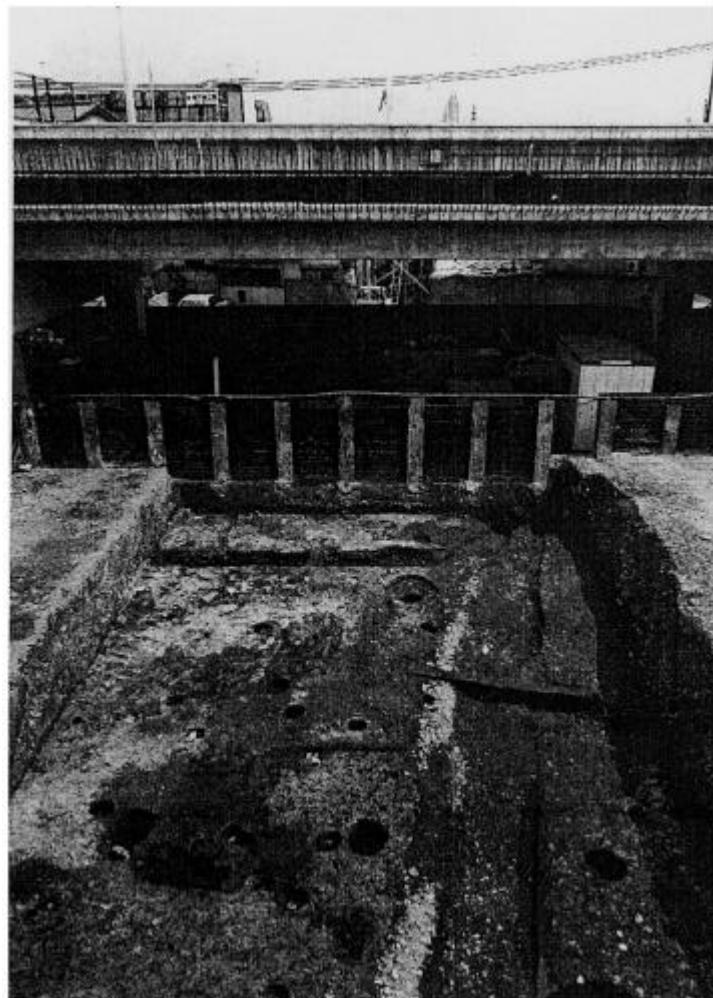
1区西京極大路路面と西側溝（北から）



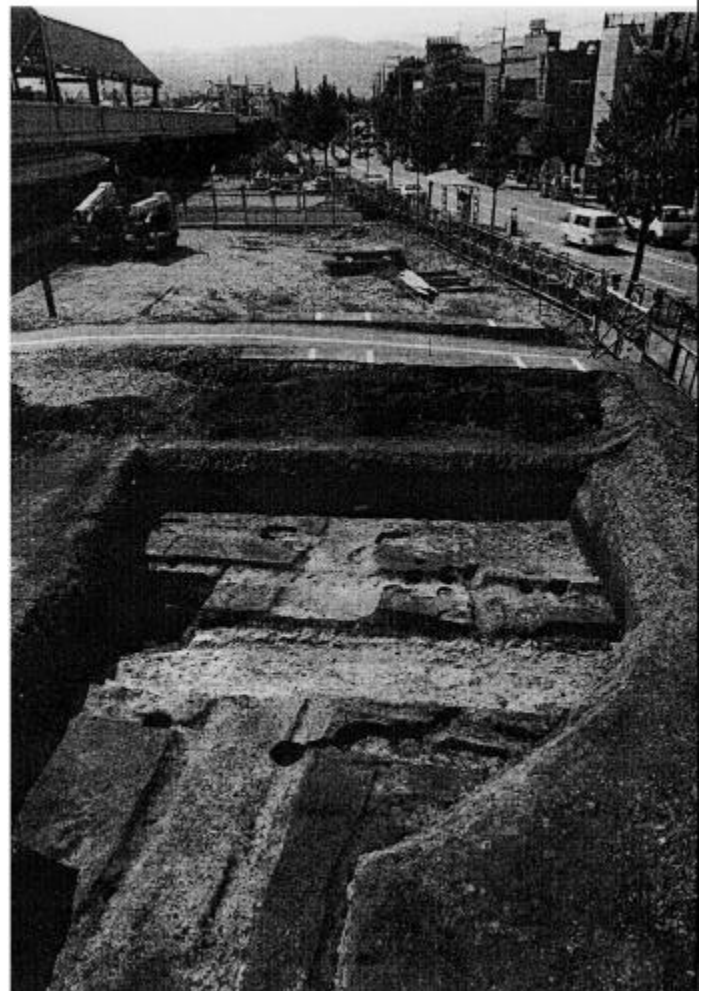
№9-3 礎石痕跡（東から）



№8-5 三重塔と園池（西から）



№11-3 西京極大路東側溝（北から）



№10 平安時代前期の掘立柱建物（東から）



No.11-1 東門跡（東から）



No.11-1 東門跡の地業（東から）